

代表取締役

岡 幸一さん

お か こう い ち



「体に貼る」製品をつくり続けて50年
人々の健康を支える身近な存在「絆創膏」を
高機能・高品質へ進化させるトップメーカー

ドラッグストアにずらりと並ぶ絆創膏。サイズや用途、効能が多様になり、選ぶのにもひと苦労。多くの製品が競い合う分野でひときわ目立つのが、「目立ちにくい」がセールスポイントの「キズクイック® fit」だ。製造しているのは市販向けハイドロコロイド絆創膏を素材から製造できる日本唯一のメーカー、東洋化学株式会社。突出した発想と技術が生み出す製品は、市場のニーズをピンポイントで満たし続けている。



「グッドデザイン賞」、[「発明大賞考案功労賞」を受賞した「キズクイック® fit マルチフィットタイプ」。肌にフィットしやすいドローン型の形状が特徴的

「会社の沿革と事業内容は？」
1959年、私の父が岡薬品工業社という貼り薬をつくる個人事業を始めたのが最初でした。もともと父は、肩が凝った時などに貼るメントール含有の消炎剤をつくる会社にいたのですが、倒産してしまい、自分で会社を立ち上げたのです。1968年頃から救急絆創膏の製造を始めました。当時は配置薬（置き薬）が主流で、家庭の薬箱に入っておけばほとんど消費され、父の言葉を借りれば「作ったら作った分売れる」状況でした。1974年に東洋化学株式会社

として法人設立し、現在に至ります。父はモノづくりが好きで、四六時中開発アイデアを考えていました。絆創膏の業界というのは日進月歩で、次々と新しいタイプの製品が生産されていますが、父は新しい素材を見つけたら、機械のしくみを考え出したりすることに長けており、「これからどんな絆創膏が売れるか」という動向を見越していました。そうした進取の精神は今なお当社に受け継がれていると自負しています。

「ハイドロコロイド絆創膏とは？」
昔は切り傷や擦り傷などの怪我をしたら、消毒し、乾かし、かさぶたができるのを待ち、そのかさぶたが自然に取れるのを待つという順序で治していきました。しかし、最近では、湿潤療法の考え方が一般的になってきました。傷口をよく洗い、湿った状態のまま空気に触れないように覆うことで、より早い治癒を促すというものです。ハイドロコロイド絆創膏はその湿潤療法に一役買う効果的な絆創膏です。最初は米国の企業製品が店頭に並び、従来品に比べて高価

格にもかかわらずよく売れました。そこで、日本国内の各社も輸入して加工し、販売を始めたのです。しかし、私たちはハイドロコロイド絆創膏を自社で一つ一つ上り上げることを目標に研究を続け、膏体製造技術の確立に成功しました。市販用ハイドロコロイド絆創膏を一貫生産しているのは国内では弊社だけです。膏体、基材、加工法すべてオリジナルですので、薄さや柔らかさ、目立ちにくさやフィット感を追求した、サイズや形状に工夫を凝らした製品をつくることができます。

「たとえば、どんな製品？」
「キズクイック® fit」は、ハイドロコロイド絆創膏として効能効果を高く評価されています。より薄くしたことで、より皮膚になじみ、剥がれにくくなっています。

「キズクイック® fit」は、ハイドロコロイド絆創膏はかなり分厚いので、比較していただくとうっかります。その薄さに加えて、より目立ちにくさを追求した「キズクイック® fit マルチフィット

タイプ」「キズクイック® fit 水仕事用」が「2023年度グッドデザイン賞」を、ならびに「キズクイック® fit マルチフィットタイプ」が「第49回発明大賞考案功労賞」を受賞しました。



グッドデザイン賞の賞状

今年、会社設立50周年を迎えましたが、これまでの蓄積を礎に技術力を駆使し、より高性能な絆創膏をつくることで社会に貢献していきたいと考えています。

数あるアイデア製品の一部



プロ仕様絆創膏



ハイドロコロイド絆創膏



指関節用テーピング



口閉じテープ

「産業支援プラザとの関わりは？」

まさにその「発明大賞考案功労賞」受賞に際しては、産業支援プラザの担当者に助言をいただきました。応募の際に製品の特長を文章にして説明しなくてはなりません。弊社の製品開発担当者からの視点による技術的な側面からのアプローチでなく、顧客視点すなわち「目立ちにくい」という機能を打ち出そうと提案くださいました。製品を卵に貼った写真を添付するなど、ユニークなアイデアもいただきました。

この受賞は大変誇らしく、全社員の励みになりました。何よりも、接客業や人前に出ることの多い業務に従事する人たちの大きな味方となり喜ばれていることが嬉しいです。

また昨年、弊社技術部を、滋賀県工業技術総合センターのレンタルラボから、産業支援プラ

「東洋化学株式会社の今後は？」

産業支援プラザには過去に、サポイン事業（現・Go-Tech事業）に採択されておこなった研究開発においてもお世話になりました。ご支援の甲斐あって開発技術は確立しており、引き続き製品化を模索しているところ

です。消費者が製品を間違わずに選択し、より効果的に使用するためのパッケージや説明書の工夫などにも、いっそう力を入れていく所存です。東洋化学は

<PROFILE>

- 東洋化学株式会社
- 代表者/代表取締役 岡 幸一
- 従業員/88名
- 所在地/【本社・工場】滋賀県蒲生郡日野町大字寺尻1008番地
【技術部・くさつラボ】滋賀県草津市野路東7丁目3-46
滋賀県立テクノファクトリー 5号棟
- 創業/1959年
- 設立/1974年
- 事業内容/医療機器・医薬部外品の製造販売、医薬品・化粧品・衛生用品の販売、その他関連製品の販売
- T E L / 0748-52-5000 (本社)
- U R L / https://www.toyokagaku.com/



問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 イノベーション推進課
☎ 077-511-1414 ☎ 077-511-1418

* 成長型中小企業等研究開発支援事業(GO-Tech事業)
中小企業等が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、研究開発及び事業化に向けた取組を、最大3年間支援する事業